

第2章 事前調査及び考え方等

2.1 事業地区の選定

各町村の事業地区において、令和2年度に策定した3年間の森林整備計画を基礎として、間伐等の森林施業が必要な森林を選定した。事業地の選定に当たっては、各町村役場及び森林所有者の意向に沿って林野庁と協議を行い、各町村事業地区に3～5ha程度の事業地を決定した。

事業地選定の基礎とした3年間の森林整備計画資料は、以下のとおりである。

町村名	事業地区	資料名
飯舘村	村民の森あいの沢周辺	令和2年度避難指示解除区域等の林業再生に向けた実証事業（里山再生事業 檜葉町、飯舘村、富岡町）報告書
富岡町	グリーンフィールド富岡周辺	同上
浪江町	立野地区大内返	令和2年度避難指示解除区域等の林業再生に向けた実証事業（里山再生事業 浪江町）報告書
	なみえ生活環境保全林及び丈六公園周辺林	同上
	旧大堀総合グラウンド周辺林	同上

2.2 森林整備箇所の選定

各事業地区において、間伐等の森林整備が必要な森林を表2-2-1の内容で選定した。

選定に当たっては、各町村役場及び森林所有者の意向に沿って、林野庁と協議を行い、森林状況のほか空間線量率を考慮して、森林整備箇所の選定や森林整備内容について協議・調整を行った。

表 2-2-1 各事業地区における選定内容

町 村 名 (事業地区)	森林整備の目標	事業地面積
飯 館 村 (村民の森あいの沢 周辺)	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション施設に接する森林の景観、風致の向上のための森林整備 ・施設利用者の憩いの場の創出のための森林整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林面積約 51ha において、令和 2 年度から 3 年間で間伐等の施業が必要な森林を 13.65ha 選定 ◇令和 2 年度実施済面積 …4.62ha ◇令和 3 年度実施済面積 …4.72ha ◇令和 4 年度実施面積 …4.31ha
富 岡 町 (グリーンフィールド富岡)	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な人工林の育成のための森林整備 ・地域住民の快適な生活空間の創出のための森林整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林面積約 116ha において、令和 2 年度から 3 年間で間伐等の施業が必要な森林を 11.04ha 選定 ◇令和 2 年度実施済面積 …2.85ha ◇令和 3 年度実施済面積 …4.07ha ◇令和 4 年度実施面積 …4.12ha
浪 江 町 (立野地区大内返)	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な人工林の育成のための森林整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林面積約 246ha において、令和 3 年度から 3 年間で間伐等の施業が必要な森林を 15.76ha 選定 ◇令和 3 年度実施済面積 …2.82ha ◇令和 4 年度実施面積 …1.98ha ◇令和 5 年度以降計画面積 …10.96ha

町 村 名 (事業地区)	森林整備の目標	事業地面積
浪 江 町 (なみえ生活環境保全林及び丈六公園周辺林)	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な人工林の育成のための森林整備 ・集落や遊歩道に接する森林の景観、風致の向上のための森林整備 ・森林利用者の憩いの場の創出のための森林整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林面積約 27ha において、令和 3 年度から 3 年間で間伐等の施業が必要な森林を 11.31ha 選定 ◇令和 3 年度実施済面積 …4.49ha ◇令和 4 年度実施面積 …4.24ha ◇令和 5 年度以降計画面積 …2.58ha
浪 江 町 (旧大堀総合グラウンド周辺林)	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な人工林の育成のための森林整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林面積約 60ha において、令和 3 年度から 3 年間で間伐等の施業が必要な森林を 17.62ha 選定 ◇令和 3 年度実施済面積 …4.94ha ◇令和 4 年度実施面積 …5.02ha ◇令和 5 年度以降計画面積 …7.86ha

2.3 森林内の空間線量率の把握

森林整備を実施する区域で、森林内の放射線環境を把握するために、空間線量率の測定を実施した。空間線量率の測定結果は、測定後速やかに整理し、信頼できる公表データとの比較分析等により、測定値の信頼性確保に努めた。

2.4 測定点の考え方

各事業地区を 20m×20m のメッシュに分割し、その中心点を測定点とし、空間線量率の測定を実施した。空間線量率の測定は、森林整備の施業前、施業中、施業後に実施した。空間線量率の測定時に降雨又は降雪がある場合は延期した。



図 2-4-1 20mメッシュ測定点の事例

2.5 公表データとの比較分析の考え方

信頼できる公表データとして、原子力規制委員会が実施した航空機モニタリングで得られた公表データを使用した。定点測定値との比較分析には、第15次（令和2年10月29日）及び第16次データ（令和3年10月25日）を使用した。

2.6 各町村役場及び森林所有者への事業説明

森林所有者の施業同意の取得に当たっては、各町村役場と緊密に連携しながら取得を進めた。また、森林所有者等に事業説明を行い、里山再生事業の理解が得られるよう努めた。